



【健福-1】

日野公園墓地納骨堂整備事業

健康福祉局環境施設課

■ 目的及び事業概要

日野公園墓地敷地内に新たに納骨堂を整備

位置図



施設名称	日野こもれび納骨堂
所在地	横浜市港南区日野中央一丁目13番2
面積	敷地面積:3,745.70㎡ 建築面積:1,100.17㎡ 延床面積:1,447.13㎡
施設内容	自動搬送式納骨施設 6,500基 合葬式納骨施設 20,000体 自動搬送式参拝ブース(24箇所) 待合スペース、更衣室、多目的室 駐車場(24台)
構造等	構造 鉄骨造 一部鉄筋コンクリート造 階数 地上1階、地下1階
事業費	約42億円

- 構造 鉄骨造（一部鉄筋コンクリート造）
- 階数 地上1階、地下1階

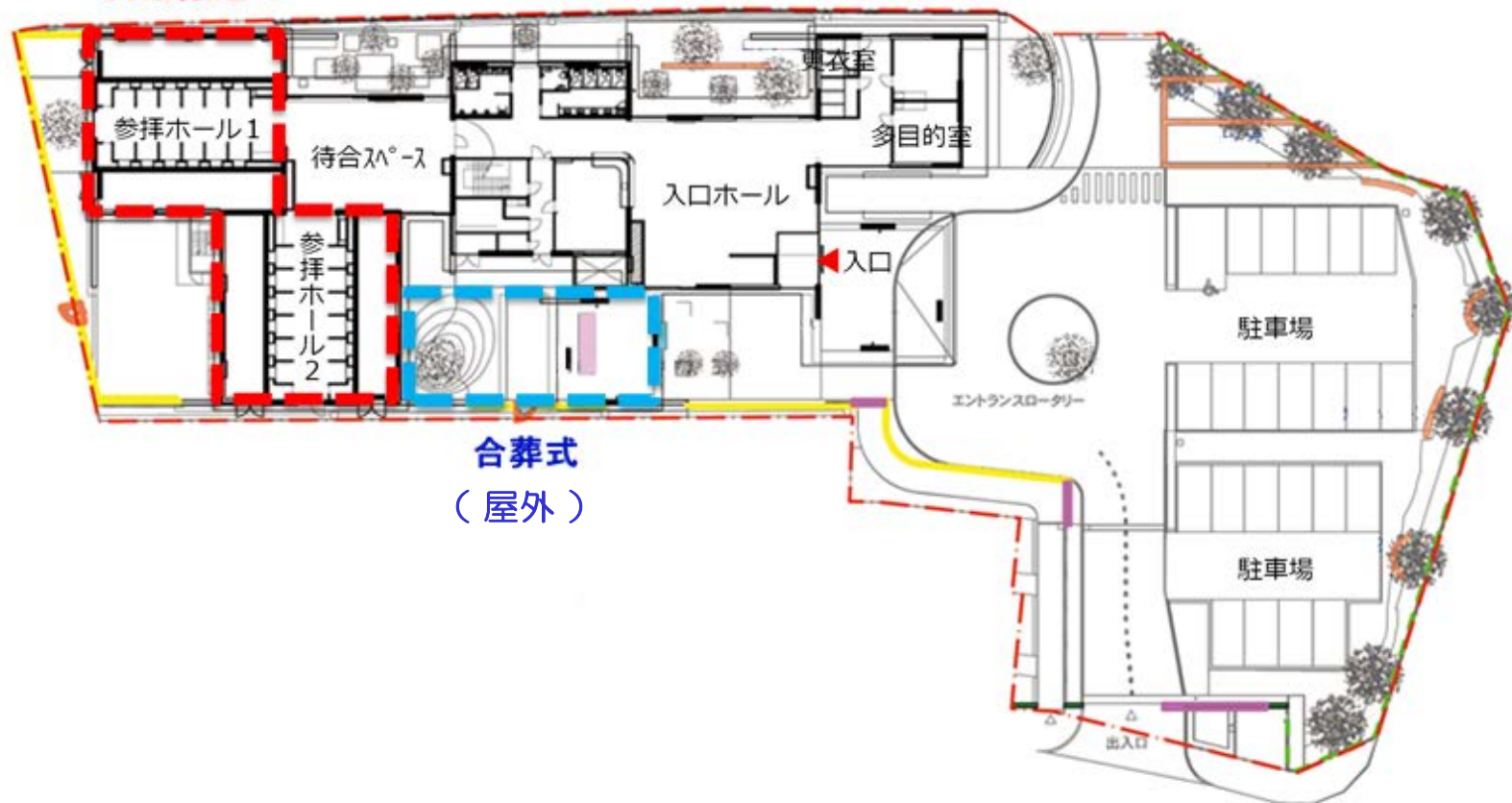


建物の高さを低く抑え、周辺の緑豊かな環境、景観に配慮したデザイン



平面図

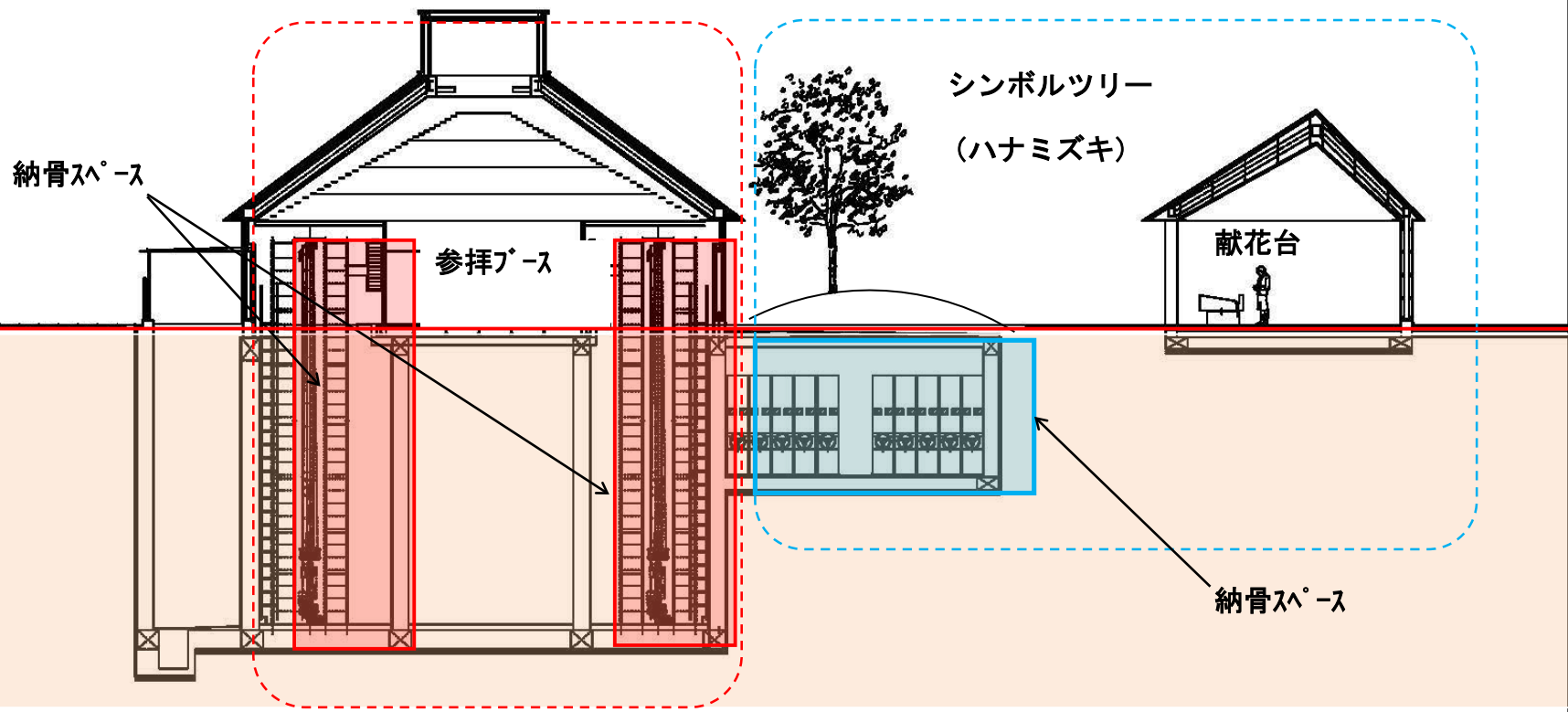
自動搬送式



断面図

(1) 自動搬送式納骨施設

(2) 合葬式納骨施設



自動搬送式納骨施設



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER



「参拝ブース」 24か所



「参拝ホール」 2か所 (2列×6ブース)

シンボルツリー：「ハナミズキ」



「参拝場所」



内部には木材を多く使用

天井から入る日差しが、樹木の枝葉をかいくぐって漏れるように地上へ射し込む「こもれび」のような印象。

【事業計画からの主な変更点】



	事前評価 (H25)	事業完了 (H30)
供用開始	平成29年度	平成30年度
総事業費	約59億円 【内訳】 建設費 : 24億 周辺対策費 : 2億 用地費 : 11億 [長期修繕費 : 22億]	約42億円 【内訳】 建設費 : 19億 周辺対策費 : 0.8億 [長期修繕費 : 22億]
墓地形態 ・ 供給数	自動搬送式納骨施設 6,500 基	自動搬送式納骨施設 6,500 基 合葬式納骨施設 20,000体

■事業の効果の発現状況



明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

【整備効果】

計画段階における令和8年度までの必要整備数

「公民合わせて約94,000区画と想定」

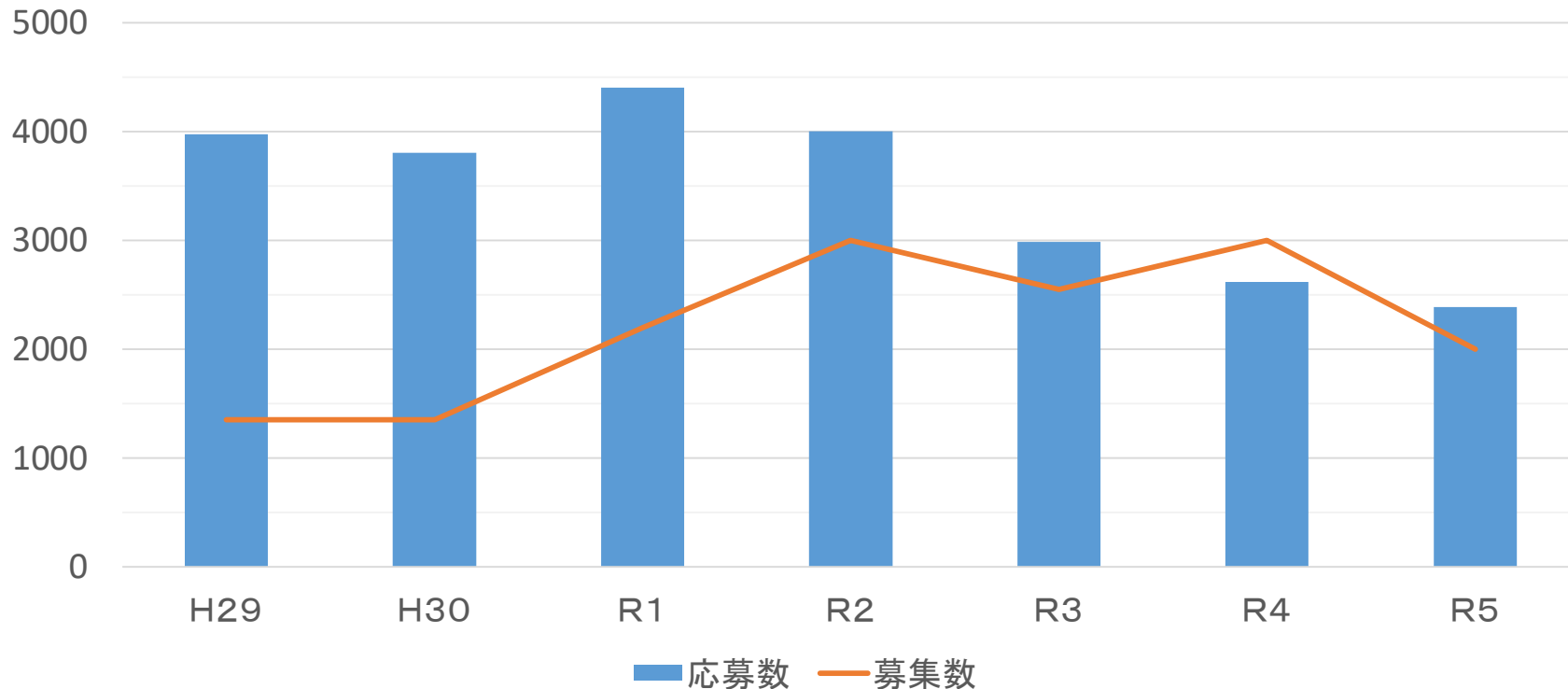
(内訳) 公共 54,000区画 民間 40,000区画



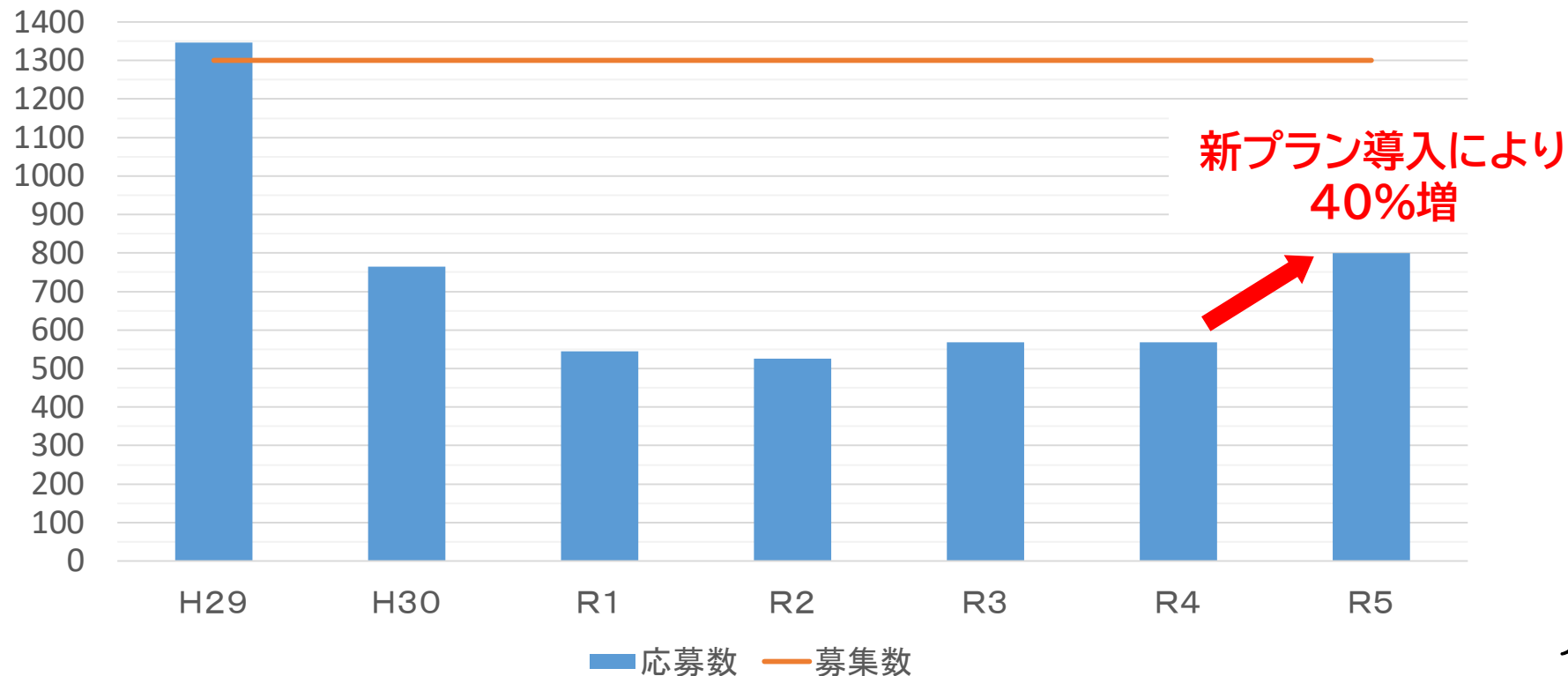
「日野こもれび納骨堂 16,500区画」 ※合葬式は2体を1区画に換算

「(仮称)舞岡墓園、(仮称)深谷通信所跡地墓園」で整備

合葬式納骨施設の応募状況



自動搬送式納骨施設の応募状況



新プランによる応募数促進への取組み（自動搬送式納骨施設）

「先々に承継をしなくても良いお墓」、「申込時に全ての手続を済ませる」ことができる、新たな使用プランを追加して募集。（合葬式納骨施設と同様）

	変更前	新たなプラン
使用期間(30年間) 終了後	更新(有料)または 遺骨引き取り	合同埋蔵墓に合祀
管理料の支払い方法	毎年払い	一括前納が選択可

・「墓じまい」の心配がなくなる。

使用許可数と残数

納骨施設	使用許可数 (H29～R4)	残 数
自動搬送式納骨施設	3,385基	3,115基
合葬式納骨施設	12,075体	7,925体

令和5年度～8年度の4年間で完売を目指します

■ 周辺環境等への配慮



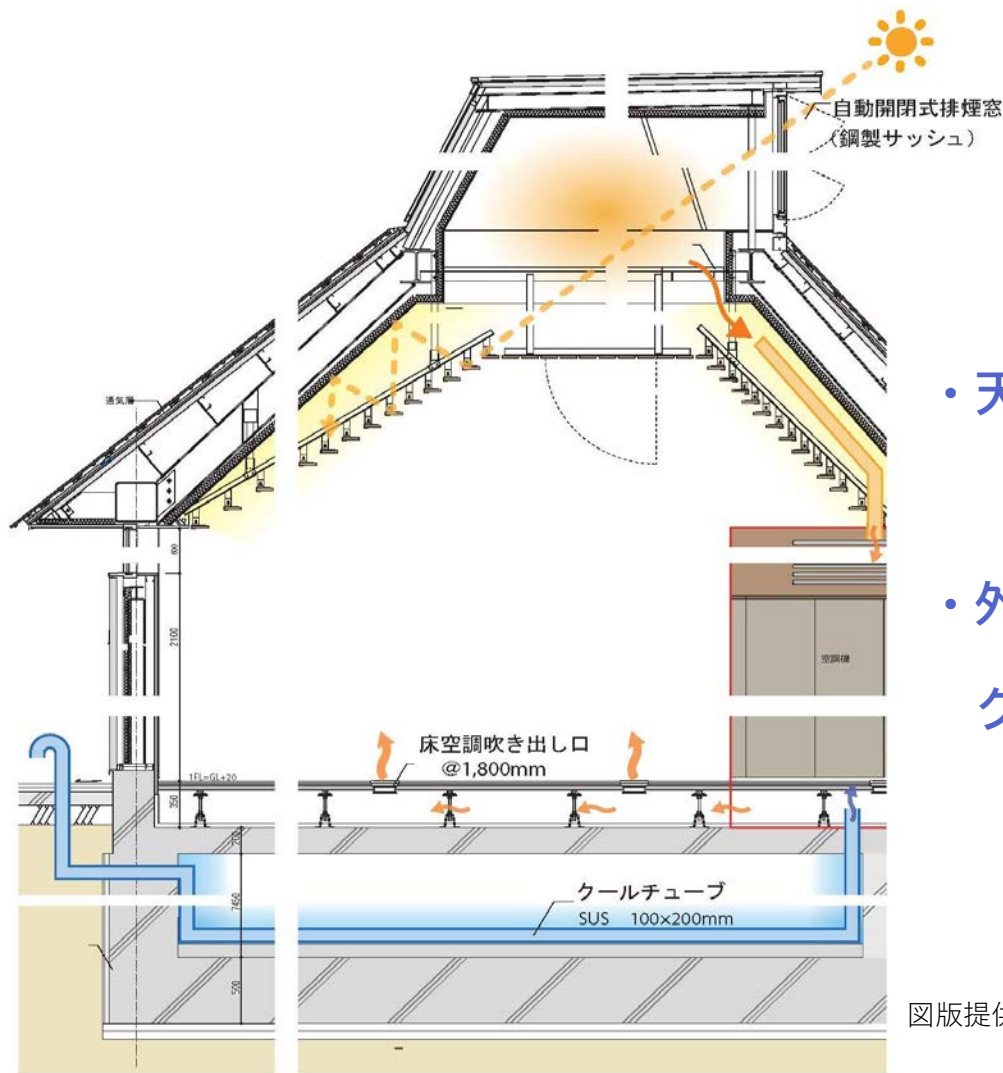
明日をひらく都市
OPEN X PIONEER

周辺環境との調和を図るため、建物の高さを抑えた平屋建て。



屋根は方形の傾斜屋根とし、メンテナンスの軽減および長寿命化を図る。





・天井に溜まった暖気を再利用

・外気を室温の安定した地下室に通す
クールチューブを採用

■その他（事前評価）

◆意見具申

「今後の墓地整備にあたっては、公と民の役割分担に関する考え方を整理し、事業を進めるようにしてください。」

◆意見具申に対する対応

「平成26年度第2回横浜市公共事業評価委員会」で報告済。

(別紙 2)

■対応方針

- 利用者募集において一定数の需要があり、施設整備の目的、事業効果の発現状況に鑑み、改善措置の必要性は特にないと考えます。
- 引き続き、市民ニーズへの柔軟な対応を図りながら、施設運営を進めます。

■今後に向けた検討項目・改善点

- 墓地への市民ニーズを把握するため、「横浜市墓地に関する市民アンケート調査」を5年ごと実施。(別紙 3)
- こうした結果を踏まえ、市営墓地整備と運営を進めます。